

第 9 回国際矯正歯科会議世界大会 (9th IOC)

(第 79 回日本矯正歯科学会学術大会、第 12 回アジア太平洋矯正歯科会議併催)

バーチャル開催プログラム

講演 (敬称略; 下線付きの講演には日本語通訳がつくか、日本語原稿や要約等が参照できる予定です。また、Orthodontic Waves-Japanese Edition でのご案内の変更や、本案内印刷後の講演辞退等による変更等につきましては大会ホームページでご確認ください。)

Doctors' Program : 矯正歯科医向けプログラム

- WFO Keynote lecture : WFO 基調講演

Takayuki Kuroda : エビデンスに基づいた矯正歯科治療 : エビデンスとはなにか ?

- Imaging and Digital Orthodontics : 画像とデジタル矯正歯科

Om P Kharbanda : 頭蓋顔面画像を用いた 3 次元的な頭蓋計測と体積計測の自動化

Nikhilesh R Vaid : C"LOUD" & CLEAR! (ク"ラウド"と"クリアー")

Toru Deguchi : 米国の卒後教育プログラムにおける各種 3 次元診断ツールの活用

- Accelerated Tooth Movement : 歯の加速移動

M. Ali Darendeliler : どうすれば歯の動きを加速できるか ? 外から手助けが必要 ?

Martyn T Cobourne : 歯の矯正移動の補助手段 : わざわざ使う価値が本当にあるか ?

- Airway : 気道

Won Moon : 上気道閉塞患者に対する中顔面骨格の拡大装置 (MSE) による非外科的な拡大

Leslie A Will : 顎矯正手術の最新情報 : 長期安定性と気道との関係

Yuehua Liu : 閉塞性睡眠時無呼吸症の小児における上気道拡張が顎顔面成長にどう影響するか

- Clear Aligners : アライナー型矯正装置

Ali H Hassan : クリアアライナー : どこまで予測可能か

Zhihe Zhao : クリアアライナーの欠点、リスクとその対策

Jorge Faber: 高齢患者の矯正歯科治療 : 古いものは新しい

Benedict Wilmes : ミニインプラントを用いたクリアアライナー治療の予知性の向上

- Biology in Orthodontics : 歯科矯正学の生物学

Nan E. Hatch : 歯の移動の生物学的制御はできるか ? もしできるなら、どのように ?

Adilson Luiz Ramos : 痩せた歯槽骨への矯正学的歯の移動

- Biomechanics : 生力学

Ravindra Nanda : 現代の矯正歯科臨床におけるバイオメカニクスの関連

Noriaki Yoshida : 目に見えるスマートバイオメカニクス : 長期的歯の移動の予測戦略に基づいた治療メカニクスの最

適化

- Bone Biology : 骨の生物学

Carlalberta Verna : 歯の移動のバイオメカニクスに対する骨密度の影響

Hiroshi Kamioka : 骨のバイオイメージング

Sarandeep Huja : 速い歯の移動は矯正歯科治療に絶対必要か?

- Edgewise Appliance : エッジワイズ装置

Yves G Bolender : 従来型と各種セルフライゲーションブラケットに違いはあるか? 系統的レビュー

Heemoon Kyung : 過去 40 年間の矯正歯科治療における革命と進化

- Class II Treatment : II 級治療

Lorenzo Franchi : II 級不正咬合の効率的な治療のための患者に依存する要因

Joseph Ghafari : II 級 1 類不正咬合の再検討

- Class III Treatment : III 級治療

Hugo De Clerck : BUMP (バンブ)

Yijin Ren : III 級不正咬合を伴う口蓋裂患者の骨固定による上顎前方牽引

Kee-Joon Lee : ハイパーダイバージェント・フェースの全歯列の圧下 : 従来の顎整形術の代替法

- Cleft Lip and Palate : 唇顎口蓋裂

David P. Rice : 唇顎口蓋裂を理解するためのブレークスルー : 矯正歯科治療と歯科矯正学への影響

Jonathan R Sandy : 唇顎口蓋裂の医療の中心となる矯正歯科医

Naoto Suda : 唇顎口蓋裂症例の再生医療と矯正歯科治療

- Craniofacial Disorders : 顎顔面の異常

Dror Aizenbud : 頭蓋顔面奇形の管理 : 歯科矯正学の視点から 30 年の見通し

- Craniofacial Growth : 顎顔面頭蓋の成長

Ichiro Takahashi : 軟骨の発育初期における軟骨細胞のメカニカルストレスに対する反応

Laura R Iwasaki : 顎関節の成長と退行変性の予知につながる機械的な習性

- Diagnosis and Treatment Planning : 診断と治療計画

Hong He : 気道を中心とした子供の矯正歯科診断と治療

Kunihiko Miyashita : ブロードベント博士の 90 年の生涯の記録とセファロメトリクスの臨床応用

- Early Treatment : 早期治療

Peter Ngan : TAD を用いた III 級不正咬合の早期治療

James A McNamara : 混合歯列初期の拡大 : 努力の価値があるか?

Letizia Perillo : 歯槽性・骨格性 II 級不正咬合の早期治療

- Evidence Based Orthodontics : 科学的根拠に基づいた歯科矯正学

Carlos Flores Mir : 日常の矯正歯科臨床における意志決定へのエビデンスの応用 : 未萌出歯の物語

Padhraig Fleming : 矯正歯科治療後の保定 : 止められない?

- Eruption Disorders : 歯の萌出障害

Inger M Kjaer : 病的な歯の萌出の予測と予防

Ewa M. Czochrowska : 埋伏歯の歯槽移植 : 科学的証拠と臨床での実際

Stella Chaushu: 埋伏歯治療の失敗：未来を予測するのは難しいので、あなたの失敗から学ぶ

- Facial Esthetics : 顔の美学

Carroll Ann E Trotman : 顔の力：麻痺および障害後の機能の回復

David M Sarver : マクロからミニまで可能性を探る

- Genetics : 遺伝

Sylvia A. Frazier-Bowers : デザイナー 遺伝子および個別矯正歯科治療：遺伝学の進歩の臨床的意義

Carine E.L. Carels : 口腔顔面裂と歯の無発生に関する遺伝学とゲノミクス

Tetsutaro Yamaguchi : 不正咬合におけるヒト遺伝学

- Interdisciplinary Treatment : 学際的治療

Mithran S Goonewardene : 複合した歯科的問題の学際的管理

Ute E.M. Schneider : 多分野が関わる学際的成人治療

Birte Melsen : 退化歯列の再生：力を合わせればできる

- Open Bite Treatment : 開咬治療

Roberto Justus : スパーを用いた開咬治療の安定性

Tae-Woo Kim: 開咬を効率的に治療し、安定した治療結果を維持するための戦略的アプローチ

Flavia Artese : 開咬：我々は正しい原因に対して治療しているか？

- Oral Physiology and Treatment : 口腔生理と治療

Ambra Michelotti : 咬合の脆弱性：過敏性、神経可塑性と適応

Shouichi Miyawaki: 咬合の重要性和睡眠時ブラキシズムの生理学的意義

Mauro Farella : ブラキシズム：矯正歯科医の視点

- Obstructive Sleep Apnea : 睡眠時無呼吸症

Juan M Palomo : 睡眠時無呼吸症と矯正歯科医

Seung-Hak Baek : 睡眠機能と顔面美学の観点から見た成人閉塞性睡眠時無呼吸症患者の治療ガイドライン

- Patient's Expectations and Treatment : 患者の期待と治療

Steven J Lindauer : 患者の期待と矯正歯科治療の未来

Susan J Cunningham : 非常に大きな期待：矯正歯科治療における患者の期待を理解する

- Problems in Orthodontic Treatment : 矯正歯科治療にまつわる問題

Anne Marie Kuijpers-Jagtman : 根尖部の外部歯根吸収に対するエビデンスに基づいたアプローチ

Glenn Sameshima : 矯正歯科治療に伴う歯根吸収：矯正歯科医のための最新情報

Stavros Kiliaridis : 咬合干渉：矯正歯科治療における歯の動きにどのように影響するか？

- Periodontal Considerations : 歯周組織への配慮

Chun-Hsi Chung : 矯正歯科治療における歯周組織に関して考慮すべきこと

Dimitrios Kloukos : 未治療者と比較した矯正歯科治療を受けた患者の歯肉退縮の長期的な進展

Li Weiran : 重度歯周病を伴う患者の矯正歯科治療

- The Smile : 笑顔

Sylvain Chamberlan : 顔の垂直的な長さとおしと美しさ

Joseph P. Bouserhal : 成人 II 級症例に関するいくつかの考察

Chris Chang : ガミースマイルの改善

- Orthognathic Surgery : 顎矯正手術

Flavio Uribe : 顔の審美性を向上するための顎矯正手術の補助的手段

R. Scott Conley : 21 世紀の顎矯正手術 : 限界を超えるための歴史的原則の応用

Chung How Kau : 矯正歯科治療および顎矯正手術における 3 次元的計画

- Temporary Anchorage Devices : 暫間固定装置 (TAD)

Mitsuru Motoyoshi : 歯科矯正用アンカースクリュー (OAS) の安全な植立

Junji Sugawara : スケレタルアンカレッジは成人の III 級治療の歯科矯正学的戦略をどう変えたか ?

- TMJ : 顎関節

Kotaro Tanimoto : 下顎頭吸収機序と矯正歯科治療時の対応

Sunil Kapila : 特発性下顎頭吸収 : 診断と管理の最新アプローチ

- Rising Stars : 新進気鋭の研究者

Noriaki Ono : 骨格の発育と再生における細胞の可塑性と幹細胞の活性化に関する歯科矯正学的話題

Akihiro Yasue : 部分無歯症患者の遺伝子変異の同定とゲノム編集技術を用いた遺伝子 in vivo 機能解析

Allied Health Professional Program : 歯科衛生士・技工士向けプログラム

- My functional Therapy : 口腔筋機能療法 (MFT)

Takashi Nezu : 矯正歯科治療における意識トレーニングと筋機能療法 (MFT)

- New Digital Technology in orthodontic clinic : 矯正歯科臨床における新たなデジタル技術

Tatsuya Kosaka : デジタル技術によって矯正歯科分野にはどのような変化が生じるか ?

- Marketing and Practice Management : マーケティングおよび実践管理

Yuko Shimizu : 海外で歯科衛生士として働く現状

Hajime Kamiyasu : 歯周組織への配慮 : 歯周組織のチャートなしで矯正歯科治療を始めないで !

- Advancement in Digital Technology : デジタル技術の進歩

Masahiro Iijima : 口腔内スキャンで生成された 3D デジタルモデル : 臨床応用に際し信頼できるか ?

Makoto Tashiro : 光学印象と 3D テクノロジーによる矯正歯科治療の進化

APOS 講演

- APOS Oration: APOS 基調講演

Eric J.W. Liou : III 級不正咬合を呈する思春期成長患者における下顎および上顎の成長方向の転換

- APOS Lectures : APOS 講演

Yanheng Zhou : アライナー : 今日の矯正歯科治療の変革

Martin Antonio V. Reyes : 修復前/補綴前の矯正歯科治療 : 患者の審美的および機能的ニーズのバランス
Jayesh S. Rahalkar : 上顎中切歯の喪失に対する現代矯正歯科管理
Mike Razza : 横行する業界混乱の時代の真実 : オーストラリア矯正歯科学会 (ASO) の役割とは?
Desmond Ong : 妥協した第一大臼歯の管理戦略 : 歯科矯正学的展望
Geraldine G. Lee : 時代を先取りして : 院内でできるクリアアライナー
Chai Kiat Chng : サージェリーファーストの矯正歯科治療における管理
Tsang Tsang, Franklin She: 顎矯正手術の有無と SWA によるガミースマイルの悪化 : 10 年までの予後
Chairat Charoemratrote : III 級外科手術回避のためのバイオメカニクスの革新
Yoon-Ah Kook : II 級不正咬合を矯正するための効率的な非抜歯アプローチ
Junichiro Iida : 矯正歯科治療における筋機能療法 (MFT) の有効性と科学的背景
Johnson Hsin-Chung Cheng : 笑顔の美学 : エビデンスに基づく研究と臨床応用
Noriyoshi Shimizu : 熱膨張性マイクロカプセル混入光重合レジンで接着したセラミックブラケットの CO₂ レーザー照射を応用した容易な撤去

JOS 講演 (認定医研修ポイント対象プログラム)

- JOS Session : 現代でも変わらぬ Edgewise 治療の基本と変遷、現状と進歩

James L. Vaden : エッジワイズ装置 : 過去と現在

Will A. Andrews : ストレート・ワイヤー装置 : 起源、順列と誤解

Carl F. Gugino : 矯正歯科治療の過去、現在、未来 : 倫理と専門性、卓越性とリーダーシップ

-生涯研修セミナー : 睡眠時無呼吸症の臨床アップデート

日本大学歯学部口腔外科講座 外木守雄 : 睡眠外科治療としての顎変形症手術のあり方—その基礎から臨床—
岩手医科大学睡眠医療学科 櫻井 滋 : 『睡眠時無呼吸症候群 (SAS) の診療ガイドライン 2020』における歯科関連の推奨について

※最新のプログラムの内容につきましては、大会 Web サイトのプログラムページをご覧ください。

http://www.wfo2020yokohama.org/contents/p_info_program.html

<お問い合わせ>

運営事務局 : 株式会社Congre内

〒103-8276 東京都中央区日本橋 3-10-5 オンワードパークビルディング

Tel: 03-5215- 6956 (平日 9:30-17:30) E-mail: wfo2020yokohama@congre.co.jp